

2026年6月4日

各 位

会 社 名 株式会社リプライオリティ
代表者名 代表取締役社長 中山 伸之
(コード：242A 福証Q-Board 市場)
問合せ先 取締役管理部長 井手 雅雄
(TEL. 092-686-8300)

北海道大学との「アカモクの陸上養殖技術開発」に関する共同研究開始のお知らせ

当社は、国立大学法人北海道大学（以下、「北海道大学」という。）と、アカモクの陸上養殖技術開発に関する共同研究契約を締結し、共同研究を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本共同研究では、アカモクの陸上養殖に向け、スモールスケールでの成長・成熟条件の検討および成熟誘導のための検証試験を行ってまいります。

記

1. 本共同研究の目的及び背景

当社は現在、天然収穫によりアカモクの一定の生産量を確保しております。一方で、今後の販売量拡大に向けては、天然収穫のみでは生産量の拡大に一定の限界があることから、より計画的に生産量を拡大できる体制の構築が重要であると考えております。

このような背景のもと、当社は、天然収穫に加えた新たな生産手法の可能性を検討するため、北海道大学との共同研究により、アカモクの陸上養殖に向けた成長・成熟条件の検討および成熟誘導に関する検証を進めることといたしました。

本共同研究を通じて得られる知見を踏まえ、将来的には天然収穫と養殖を組み合わせた生産量拡大の可能性を追求し、アカモク関連商品の販売量拡大および中長期的な成長機会の創出につなげることを目指してまいります。

2. 共同研究の概要

(1) 研 究 題 目	アカモクの陸上養殖技術開発
(2) 研究目的及び内容	アカモクの陸上養殖に向け、スモールスケールでの成長・成熟条件の検討を行い、成熟誘導のための検証試験を行う。
(3) 研 究 期 間	2026年6月1日から2027年3月31日

3. 共同研究の相手先の概要

(1) 名 称	国立大学法人北海道大学
(2) 所 在 地	北海道函館市港町3丁目1番1号
(3) 研 究 代 表 者	大学院水産科学研究所 准教授 宇治 利樹

4. 今後の展望

当社は、本共同研究を通じてアカモクの陸上養殖技術の可能性を検証し、天然収穫と養殖を組み合わせた生産量拡大および安定供給体制の構築を目指してまいります。

また、アカモク関連商品の販売拡大を通じて、中長期的な成長機会の創出および企業価値の向上に取り組んでまいります。

5. 今後の見通し

本共同研究の開始が、当社の2026年9月期業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

なお、今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上